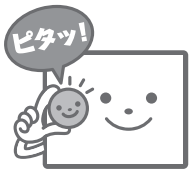


楽ちんマグボード 施工要領

［2023.4 版］

施工部材推奨品リスト

■副資材【メーカー：(株)タイルメント】
- 接　着　剤：MK-720　333ml
  使用量目安　1本
  3×6　1.2枚分・3×8　1枚分
- 両面テープ：ボードタック　20mm×10M
  使用量目安　1巻
  3×6　1.5枚分・3×8　1枚分
- 目地用シリコーン：アークシール　S-100J　333ml
  ホワイト(パールホワイト・マットホワイト用)
  アイボリー(パールベーシュ)
  使用量目安
  5mmΦで1本　12M

■見切り金物【メーカー：(株)創建】
- 端部見切り：アルミ3CA(54200)バニラホワイト 2.73m定尺
- ジョイント：アルミ3HA(54210)バニラホワイト 2.73m定尺
- 出　隅　用：アルミ3AD(50120)バニラホワイト 2.73m定尺
- 入　隅　用：アルミ3AB(50130)バニラホワイト 2.73m定尺

楽ちんマグボード

施　工　説　明

○施工前に施工説明をよく読み、正しく施工してください。
○施工される前に輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますのでご注意ください。
○建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。
○楽ちんマグボードは環境の変化により伸び縮みの可能性があります。必ず標準工法・注意事項に従って施工してください。
○当製品は浴室内や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。屋内でご使用ください。
○天井用途には適しませんのでご使用できません。
○楽ちんマグボードは保護フィルムのある面が表面です。
○湿気を帯びた下地・施工後に湿気を帯びる可能性のある下地、高温・高湿になる場所には施工しないでください。（剥がれ・浮きの原因となり危険です）
○搬入・現場内での運搬・施工は楽ちんマグボードがたわむため、２人以上で行ってください。
○５～35℃の環境で施工してください。
○施工中、施工後の養生期間には換気を行ってください。
○接着剤は引火性があります。使用時・取り扱い場所は火気厳禁としてください。
○専用副資材については、それぞれのMSDSにて詳細な安全情報をご確認ください。
○本製品は、事業者を対象とした業務用製品です。廃棄する場合、産業廃棄物として処理してください。
○通常の内装施工と比べ、手間・時間がかかるため施工費は割高となります。

⚠ 安全についてのご注意

下記注意事項は、ケガや事故を事前に防止するためのものですので必ずお守りください。
楽ちんマグボードは国土交通大臣認定不燃壁材ですが、表面は化粧仕上げのため直火が当たる場所へは使用しないでください。
炎が当たった場合、延焼の心配はありませんが表面の化粧層が焦げ変色する恐れがあります。

注意事項	想定される危険性
●指定の専用仮留めテープ・専用接着剤以外は使用しないでください。 ●下地施工は下地材料メーカーが指定する方法を厳守してください。	**剥がれによる落下の恐れ**
●家庭用加熱調理機器と楽ちんマグボード表面は十分な距離を離してください。 ●業務用加熱調理機器の場合は、家庭用に比べ熱量が極端に高く、近接する部位にはご使用できません。 ●加熱調理機のまわりに楽ちんマグボードを設置し、メモ等引火性のあるものを貼り付けて使用すると熱や炎で思わぬ事故を招く場合がありますので十分ご注意ください。	**表面変色・火災発生の恐れ**
●運搬・作業時には滑り止めの手袋を着用するとともに、加工時に粉じんが発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。防じん丸のこを使用し、換気を良くして作業を行ってください。もし粉じんが皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合は、速やかに水で十分洗い流してください。異常を感じたら直ちに医師の手当てを受けてください。 ●重量物になりますので、落下時のケガにご注意ください。 ●カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパー・バリはヤスリで面取りしてください。 ●使用する専用接着剤には有機溶剤が含まれておりますので、使用時には十分換気するとともに、火気に十分ご注意ください。	**怪我もしくは 健康障害を生ずる恐れ**
●マグネットの磁力（kg）×保持力（50%）が保持できる重さの目安となります。実際の商品サンプルに、ご使用予定のマグネットでお確かめください。 ●マグネット保持力以上のものを吊るすと、マグネットが落ちる可能性があります。 ●保持できる重さの範囲内であっても、楽ちんマグボード表面が滑りやすくマグネットが落下する可能性がありますのでご使用前にサンプルにて保持力をお確かめください。	**マグネット落下による 怪我の恐れ**

施工の手順

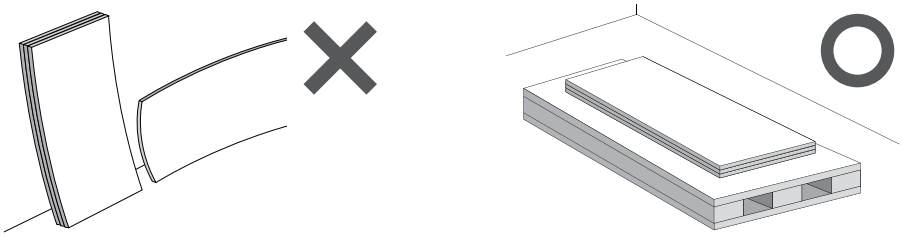
① 材料・下地確認 → ② 納まり決定 → ③ 割付け 下地処理 → ④ カット・加工 → ⑤ 仮留めテープ 貼り付け → ⑥ 接着材塗布 → ⑦ 貼付け・圧着 → ⑧ シーリング → ⑨ 保護フィルム はがし

⑦ 貼付け・圧着 ←― 養生（１日以上） ―→ ⑨ 保護フィルム はがし

在　庫・保　管

⚠ ご注意

●在庫･保管は直射日光や雨の当たる場所を避け､風通しの良い屋内に保管してください。
●地面への直置きは避け､平らな場所でパレットなどの上に平積みし､シートをかけて保護してください。
壁などに立てかけると､反りの原因になりますので､絶対におやめください。
●運搬の際は､たわみを防止するため2人以上で､曲げたりぶつけないよう注意して運んでください。



施　工　前　の　確　認

❶ 下地の施工　重要

まずは楽ちんマグボードの施工が可能な下地かどうか確認ください。

1 下地の種類のチェック

適さない下地について

- 湿気を帯びた下地・帯びる可能性のある下地
- ALC躯体への直貼りはできません。
- RC壁面への直貼りはできません。
- 塗装面・壁紙面・化粧面への直貼りはできません。

施工可能な下地について

- プラスターボード（推奨12.5㎜以上）
- モルタル面（含水率4.5%以下・密着強度 1.0N/㎟､平滑な金ゴテ仕上､不陸2㎜以下）
- ケイカル板（推奨6㎜以上・比重0.8以上）
- ラワン合板（推奨9㎜以上）

シーラー（ヤヨイ化学工業(株)シーアップ）を全面に塗布してください。

⚠ご注意　下地材の選定と構造の作成は建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合する様に行ってください。

2 下地調整

●下地は乾燥面とし､不陸・目違い・凹凸のないことを確認します。
● 下地表面のゴミ・ホコリ・汚れ・水分等､接着を阻害するものは除去します。
● 下地に動きがある場合は十分に固定します。
● 石膏ボードの切断部分はカッター等で面取りします。
●下地の不陸がある場合は､パテで調整し平滑な面をつくってください。

施　工　前　の　確　認

② コンロ廻りの確認

キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、楽ちんマグボード表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

●**コンロの側面**から楽ちんマグボードの表面まで 15 ㎝以上離してください。15 ㎝以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが発生する場合がありますので防熱板を使用してください。（変色やコゲが発生しても不燃性能には影響ありません。）

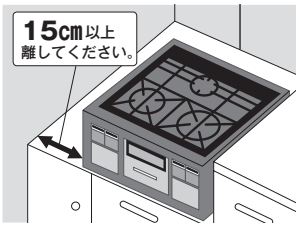
●グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65㎝未満のカウンターで使用する場合は防熱板を使用してください。

●奥行き65㎝以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合は防熱板を使用してください。

据え置きタイプコンロの場合

●据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15㎝以上離せない場合（側面、背面）は防熱板を使用してください。防熱板の施工説明書に従って壁面との距離を必ず取ってください。

※防熱材を使用する際は、各自治体の火災予防条例等により規制されることがあります。確認の上使用ください。また、規制に従った構造としてください。



※以上の条件を満たしても直接炎が楽ちんマグボードに当たらないようにご注意ください。

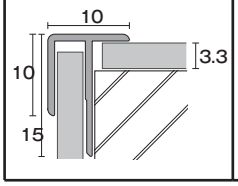
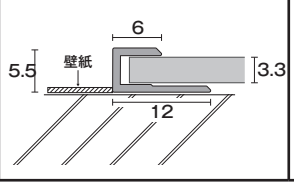
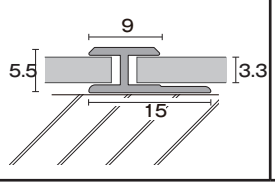
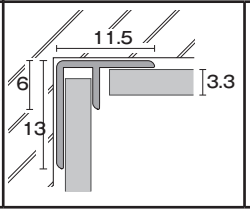
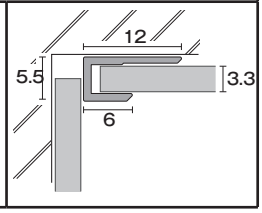
※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。規制に従った構造としてください。

※業務用コンロや調理機器に近接する部位には使用しないでください。

※加熱された鍋類が直接楽ちんマグボードに触れることが無いようにしてください。

③ 納まりの確認

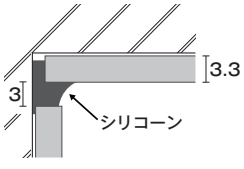
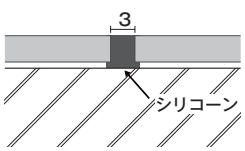
❶ジョイナー部納まり

出隅部材	見切り部材	平目地部材	入隅部材	
				

⚠ご注意 ●ジョイナー納まりの場合は、楽ちんマグボードに差し込んでから施工してください。
また、ジョイナーは裏面に両面テープ及び、接着剤を使用してしっかりと固定してください。

● 水廻りに施工する場合、必ずジョイナーの中にシリコーン（(株)タイルメント・S-100J 防カビタイプ）を注入して施工してください。

❷シーリング部納まり

入隅部	平目地部
	

⚠ご注意

●天井部への施工は、落下の危険性がありますのでご使用にならないでください。

●楽ちんマグボードを **突き付け施工しないでください**
高湿度下で楽ちんマグボードが伸びて突き上げを生じたり、低湿度下で収縮してすき間を生じる場合があります。

施　工　方　法

❶ 割付け・プライマー下地処理

下記の注意事項を遵守して割付け・下地処理を行ってください。

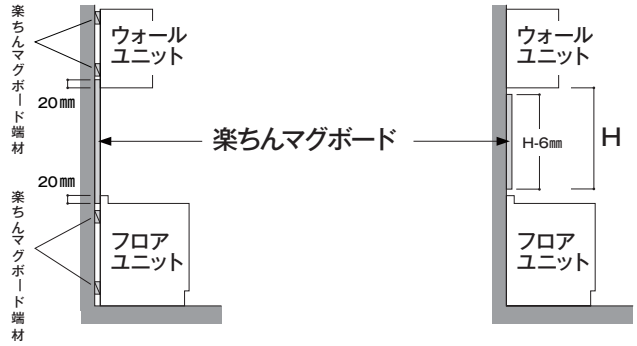
⚠ 割付け時の注意点

○下地材の目地と楽ちんマグボードの目地が重ならないよう割付けてください。

○楽ちんマグボードで突きつけ施工はできません。
シリコーン・目透かしで施工される場合、　3㎜ 以上の目地を取ってください。
ジョイナーで施工される場合も、必ずクリアランスを取ってください。

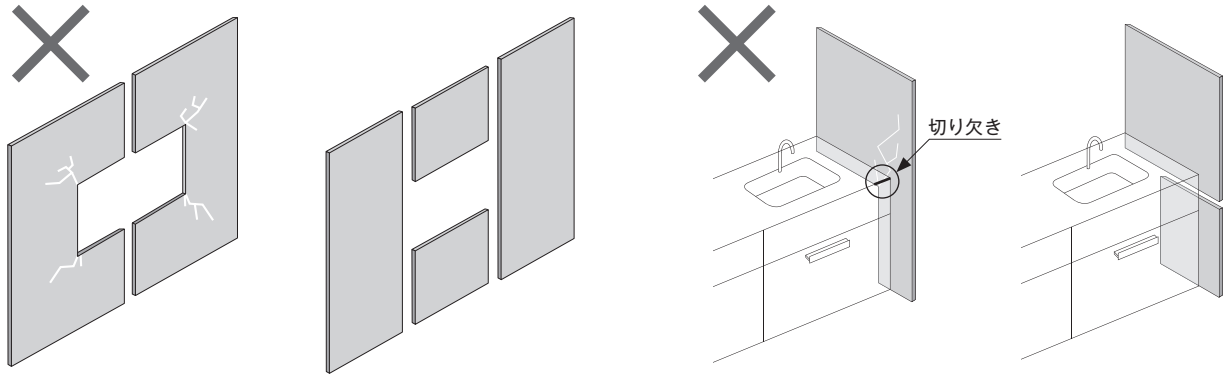
○開口部の位置及び外観を考慮し、端材が少なくなるよう割付けてください。

キッチンで使用する場合



●パネル先付け納まりの場合、吊り棚・天板へ20㎜呑み込ませて割付けてください。
また、パネル後付け納まりの場合、吊り棚・天板とのチリ3㎜を取って割付けてください。

切り欠き部がある場合



●上図のような**切り欠き部**が大きい場合、クラック発生の恐れがあります。
（上図のような場合、切り欠きではなく、複数枚を使用する割付けとしてください。）

■下地がモルタル面・ケイカル板・合板の場合

楽ちんマグボードを貼付ける部分の全面にあらかじめシーラー（ヤヨイ化学工業(株)：シーアップ）を塗布してください。

■標準塗布量：40～160g/㎡（シーアップ４kg施工可能面積目安 モルタル面 160㎡、ケイカル板 40㎡、合板40㎡）

●モルタル面→シーアップを４倍の水で希釈し全面塗布
●ケイカル板→シーアップを同量の水で希釈し２～３回全面塗布
●合　　板→シーアップを同量の水で希釈し全面塗布

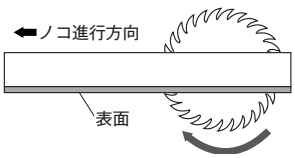
⚠ご注意　シーラー（ヤヨイ化学工業(株)：シーアップ）塗布後、完全に乾燥させてください。
シーアップはトルエン・キシレンを含んでおりませんが、ご使用の際には十分に換気を行ってください。

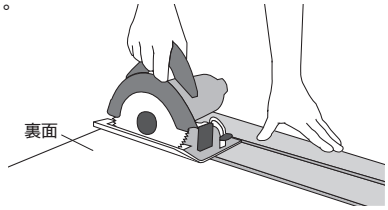
② カット・加工

下記の注意事項を遵守してカット・穴あけ・切り欠きを行ってください。

⚠ カットする時の注意点

○サンダーを使用しないでください。火の粉が化粧表面に飛散すると、とれなくなります。
○切断作業は屋外で行ってください。やむを得ず屋内で切断する場合は、防塵マルノコ（マキタ（株）・防じんマルノコ）をご使用ください。
○切断は硬質断熱材などの上に置き、当木を用いて、必ず刃物を**裏面**から入れてください。（表面には保護フィルムが貼ってあります。はがさずにカットしてください。）
○保護フィルムが付いていますが、取り扱いには充分ご注意ください。

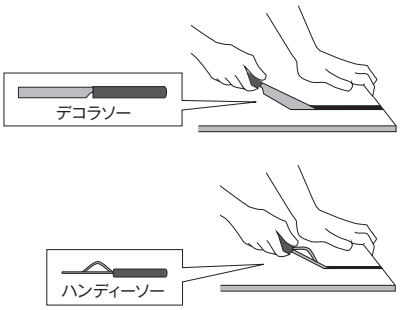




切断加工

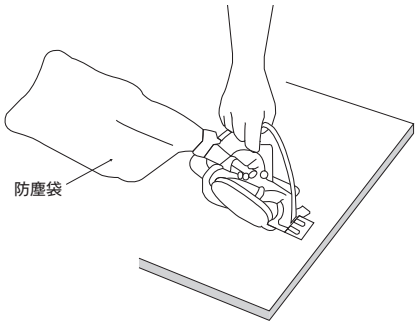
手鋸切断

手鋸（デコラソー・ハンディソー）を使用の時は、切りじまいで欠けを起こさないようにご注意ください。



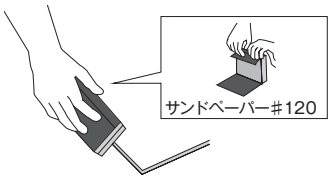
電動鋸切断

電動鋸を使用する時は、鉄・アルミ用ノコ刃（山真製鋸（株）・板金マスター・オールマイティ）をご使用ください。
※ダイヤモンドチップのノコ刃は適しません。



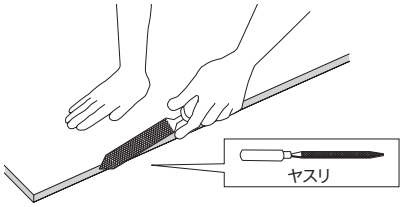
面取り方法

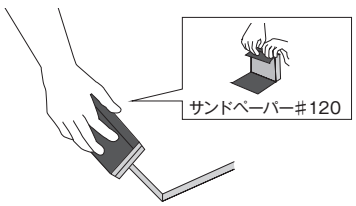
●切断面は鋭利なため必ず面取りしてください。
●カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて**軽く面取り**
●目透し・シーリング納めの場合、カットしていない面も**軽く面取り**してください。

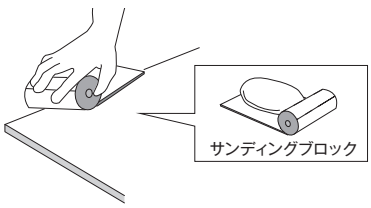


面取り加工

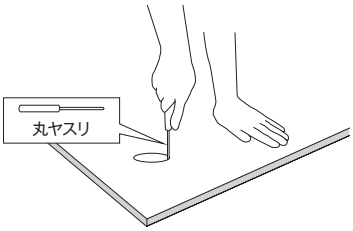
切断の仕上げ







穴あけ切断の仕上げ



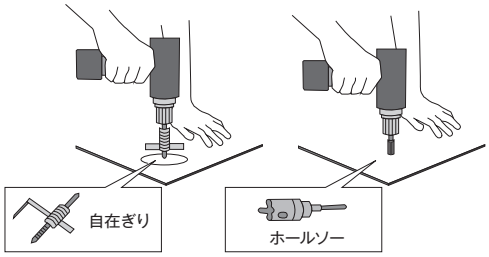
サビにくい鋼板（溶融亜鉛めっき鋼板）を使用しておりますが、切断面には防錆処理を施すことをお勧めいたします。（ヤヨイ化学工業（株）・ビスター）

⚠ 穴あけ・切り欠きの注意点

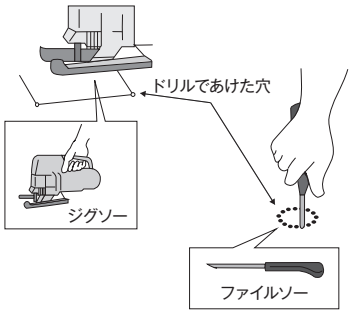
○穴あけ・切り欠きは6R（12）以上の刃物を用いて表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。
○カット後のバリ・カケは、**クラックの原因**となる場合があります。**カット面をサンドペーパーで平滑にしてください。**

穴あけ加工

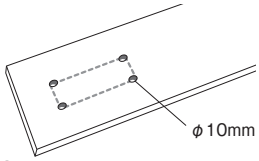
【一般の穴あけ】
直径10㎜以下ならドリル、それ以外のものは自在ぎりやホールソーをご使用ください。



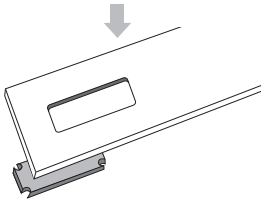
【不定形の穴あけ】
ドリルで小穴をあけた後、ジグソーかファイルソーで穴をあけ、切断をします。



コンセントなどの穴あけ

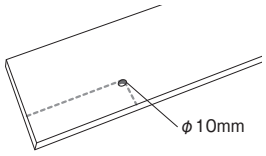


①ドリルで四隅に穴をあける。

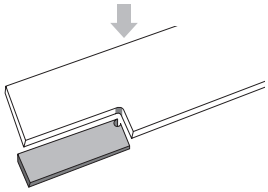


②小カッター又はノコでカットする。
③カット面を面取り

切り欠き



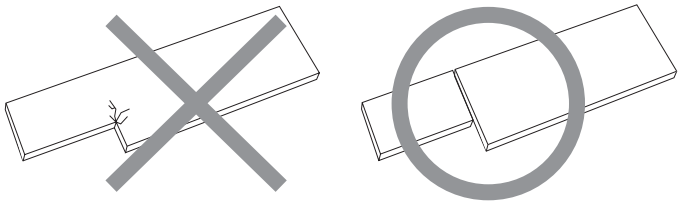
①ドリルで角に穴をあける。



②小カッター又はノコでカットする。
③カット面を面取り

⚠ ご注意

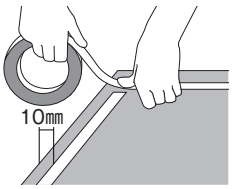
●下図のようにピン角でカットした場合、クラック発生の恐れがあります。
●下図のような場合、切り欠きではなく複数枚を使用する割付けとしてください。



③ 仮留めテープ貼付・接着剤塗布

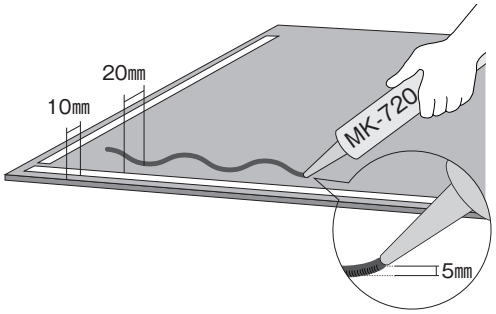
下記の注意事項を遵守して、仮留めテープ貼付・接着剤塗布を行ってください。

⚠ テープ貼付の注意点



○スペース**10mm**をあけて、仮留めテープを貼付けてください。
○両面テープは強く押えて密着させてください。
○両面テープ（（株）タイルメント・ボードタック）は、1巻（10m）で3×6板約1.5枚、3×8板約1枚が目安の使用量です。

⚠ 接着剤塗布の注意点

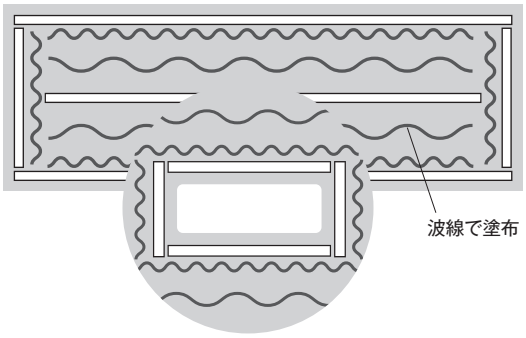


○接着剤は**高さ 5mm** で塗布してください。
○接着剤（（株）タイルメント・MK-720）1本（320ml）で、3×6板約1.2枚、3×8板約1枚が目安の使用量です。
塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
○接着剤塗布後**10分以内**に貼付け圧着してください。

〈専用接着剤使用時のご注意〉
気温が5℃以下の場合は**施工できません。**

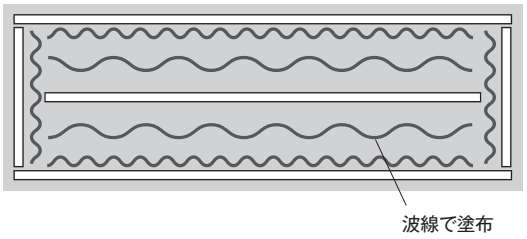
標準塗布パターン

コンセントなどの穴あけ

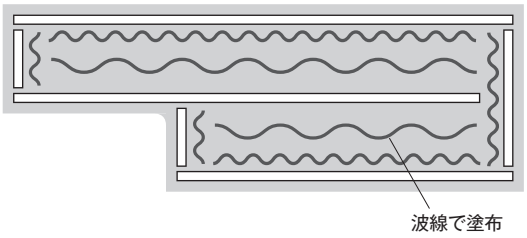


穴あけ部分拡大図

一　般



切り欠き



○開口部･切り欠き部は､仮留めテープ･接着剤により補強してください。
（下地側に仮留めテープ貼付け･接着剤塗布する場合も同様です）

④ 貼付・圧着

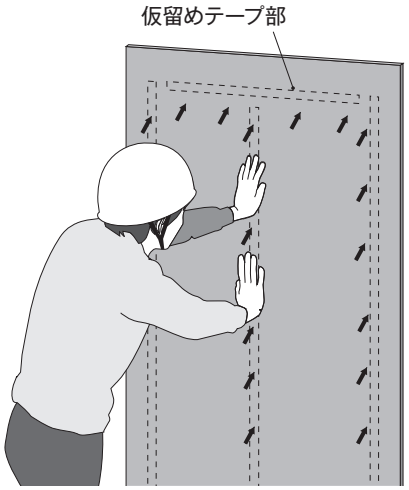
下記の注意事項を遵守して貼付・圧着を行ってください。
両面テープのはくり紙は確実に取り除いてください。

⚠ 貼付時の注意点

○楽ちんマグボードを貼付ける際に､中央部に浮きが発生しないよう注意してください。

貼り付けは2人以上で行ってください。
貼付け時は開口部・切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください（施工後のクラックの原因になる場合があります）。

※仮留めテープが壁面に一度接着すると､調整ができなくなります。



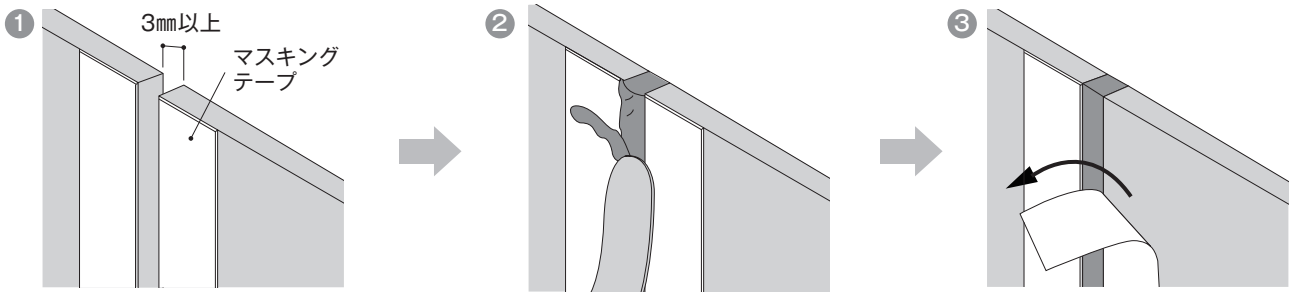
圧着する時の注意点

○仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。

※接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。

⑤ シーリング

下記の手順に従ってシーリングを行ってください。(シリコーン納まりの場合)



マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコーンを注入する。

ヘラなどを用いて、余分なシリコーンをかき取る。

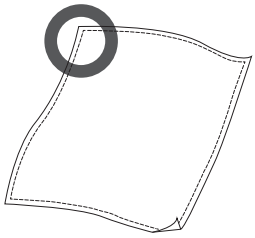
マスキングテープを**ゆっくりと内側に**剥がす。

⑥ 保護フィルム剥がし

1日以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

メンテナンス

表面の汚れは柔らかい布か、スポンジに中性洗剤をつけて汚れを落とした後、よく絞った清潔な布で拭き取ってください。タワシ類・漂白剤・クレンザー・強アルカリ・弱酸性洗剤は使用しないでください。



清潔な柔らかい布

タワシ・漂白剤・クレンザー
強アルカリ・弱酸性洗剤

楽ちんマグボード／化粧表面特性データ

項目	条件		化粧鋼板表面	
			判定基準	結果
表面硬度	鉛筆硬度 (JISK5600)		傷付き発生しない鉛筆硬度	HB
密着性 ※1	碁盤目剥離試験 (JISK5600)	1㎜×100個マス目 カット後テープ剥離	剥離無きこと	合格
			※1 密着性試験(化粧鋼板)	
耐食性	塩水噴霧試験 (JISK6744) (JISZ2371)	平板500時間	赤錆発生無きこと、剥離長さ 15㎜以下のこと	合格
耐汚染性	①アセトン ②クレヨン(赤、黒、青) ③醤油	汚染物質を化粧面に付着させ、24時間静置。中性洗剤で洗浄、アルコール清拭後、1時間放置。	ひび割れ、剥離が生じないこと	合格
耐薬品性	①トイレマジックリン ②キッチンハイター ③5%HCl ④5%NaOH	薬品を化粧面に付着させ24時間静置。中性洗剤で洗浄、アルコール清拭後、1時間放置。	ひび割れ、著しい変色が生じないこと	合格
耐熱性	植物油	アルミ鍋に植物油を入れ、180℃に加熱し、容器を置く。20分放置後、ひび・光沢変化・色調の変化がないか確認。	ひび・光沢変化・色調の変化がないこと	合格
	お湯	アルミ鍋に水を入れ沸騰するまで加熱し、容器を置く。20分放置後、ひび・光沢変化・色調の変化がないか確認。	ひび・光沢変化・色調の変化がないこと	合格